



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9069 URL <https://www.senkogrouphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 小久保 悟 TEL 03-6862-8842  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	300,762	10.0	11,705	21.4	11,964	22.5	6,955	21.5
2021年3月期第2四半期	273,449	△3.1	9,641	△6.8	9,767	△3.8	5,726	△11.0

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 7,807百万円 (26.6%) 2021年3月期第2四半期 6,165百万円 (△3.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	47.20	39.20
2021年3月期第2四半期	37.67	34.95

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	453,934	148,400	30.0	939.81
2021年3月期	436,066	146,120	30.9	909.55

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 136,204百万円 2021年3月期 134,783百万円

(注) 2022年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2022年3月期	—	17.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	15.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	625,000	9.2	25,200	17.1	25,600	15.2	14,800	3.9	100.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	152,952,221株	2021年3月期	152,952,221株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	8,024,208株	2021年3月期	4,764,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	147,371,289株	2021年3月期2Q	152,031,426株

2018年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与E S O P信託口の保有する当社株式（2022年3月期2Q 338,276株、2021年3月期 341,740株）及び役員報酬B I P信託口の保有する当社株式（2022年3月期2Q 339,226株、2021年3月期 348,873株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日 以下「当第2四半期」)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、依然として厳しい状況で推移いたしました。ワクチン接種などによる社会経済活動正常化への期待感が高まっているものの、いまだ先行き不透明な状況が継続しています。

当第2四半期の連結業績は、以下のとおりです。

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	273,449	300,762	27,313	10.0%
営業利益	9,641	11,705	2,063	21.4%
経常利益	9,767	11,964	2,196	22.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,726	6,955	1,228	21.5%

物流事業において物量の回復が見られる中、拡販ならびにコスト改善・生産性向上にグループ全体で取り組むとともに、M&Aを推進した結果、連結営業収益、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

当第2四半期のセグメント別の状況は以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	188,068	208,540	20,471	10.9%
セグメント利益	8,559	10,883	2,323	27.2%

前年同期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大きく減少した物量の回復が見られる中、拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、前期に実施したM&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は2,085億40百万円と対前年同期比204億71百万円の増収、セグメント利益は108億83百万円と対前年同期比23億23百万円の増益となりました。

(商事・貿易事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	77,534	75,010	△2,523	△3.3%
セグメント利益	1,461	1,372	△88	△6.1%

4月に家庭紙卸売のアズフィット株式会社を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善などに努めましたが、収益認識会計基準等の適用影響、燃料販売における仕入価格の上昇などにより、営業収益は750億10百万円と対前年同期比25億23百万円の減収、セグメント利益は13億72百万円と対前年同期比88百万円の減益となりました。

(その他事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	7,846	17,211	9,364	119.4%
セグメント損失(△)	△26	△106	△79	—

2021年1月に会員制の総合卸売・小売の寺内株式会社を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善などに努めましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことなどにより、営業収益は172億11百万円と対前年同期比93億64百万円の増収、セグメント損失は1億6百万円と対前年同期比79百万円の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (総資産)

当第2四半期末における総資産は、4,539億34百万円となり、前期末に比べ178億68百万円増加いたしました。

流動資産は、1,639億45百万円となり、前期末に比べ54百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が11億42百万円減少したものの、受取手形、営業未収入金及び契約資産が5億35百万円、電子記録債権が7億49百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、2,899億89百万円となり、前期末に比べ178億13百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が144億27百万円、無形固定資産が32億5百万円増加したことなどによるものです。

## (負債)

当第2四半期末における負債合計は、3,055億33百万円となり、前期末に比べ155億87百万円増加いたしました。

流動負債は、1,283億6百万円となり、前期末に比べ54億8百万円減少いたしました。これは、電子記録債務が5億68百万円増加したものの、未払法人税等が13億90百万円、その他流動負債が47億96百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、1,772億27百万円となり、前期末に比べ209億96百万円増加いたしました。これは、社債が99億76百万円、長期借入金が79億27百万円、長期リース債務が17億1百万円、その他固定負債が15億40百万円増加したことなどによるものです。

## (純資産)

当第2四半期末における純資産は、1,484億円となり、前期末に比べ22億80百万円増加いたしました。これは、自己株式の取得により34億98百万円減少したものの、利益剰余金が47億43百万円、非支配株主持分が8億78百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前期末から0.9ポイント低下し、30.0%となりました。

なお、2020年12月1日に行われた株式会社UACJ物流との企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当第2四半期連結会計期間に確定したため、財政状態については、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いて前期末との比較・分析を行っております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ、12億45百万円減少し、491億26百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、121億70百万円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が116億85百万円、減価償却費が93億37百万円あったものの、未払債務の減少による資金の減少が25億83百万円、法人税等の支払額として53億94百万円支出したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、218億49百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得に159億13百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得に51億74百万円支出したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、82億59百万円の収入となりました。これは、短期借入金の純減額が17億97百万円、長期借入金の返済に18億58百万円、ファイナンス・リース債務の返済に24億73百万円、自己株式の取得に36億30百万円、配当金の支払額に22億28百万円支出したものの、長期借入れによる収入が106億77百万円、社債の発行による収入が100億円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期の連結業績及び足元の状況を踏まえ、2021年5月14日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当（中間配当・増配）」に関するお知らせをご覧ください。

2022年3月期通期 連結業績予想数値（2021年4月1日～2022年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 625,000	百万円 24,600	百万円 25,000	百万円 14,500	円 銭 97.85
今回発表予想（B）	625,000	25,200	25,600	14,800	100.42
増減額（B－A）	—	600	600	300	
増減率（％）	—	2.4	2.4	2.1	
前期実績 （2021年3月期）	572,405	21,520	22,230	14,240	93.81

<ご参考> 利益配分に関する基本方針及び当期の配当について

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。この基本方針のもと、2022年3月期の中間配当金につきましては、当第2四半期連結累計期間の連結業績が順調に推移したことを勘案し、直近の配当予想から修正（増配）させていただきます。これにより、年間配当金は2円増配し、1株当たり32円（中間17円、期末15円）とさせていただきます予定です。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	15円00銭	15円00銭	30円00銭
今回予想		15円00銭	32円00銭
当期実績	17円00銭		
前期実績 （2021年3月期）	13円00銭	15円00銭	28円00銭

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,530	51,387
受取手形及び営業未収入金	82,689	—
受取手形、営業未収入金及び契約資産	—	83,225
電子記録債権	2,519	3,269
商品及び製品	12,990	12,690
仕掛品	316	188
原材料及び貯蔵品	651	743
その他	12,221	12,474
貸倒引当金	△28	△34
流動資産合計	163,891	163,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	80,201	83,515
土地	81,628	86,939
その他（純額）	47,723	53,526
有形固定資産合計	209,554	223,981
無形固定資産		
のれん	9,979	11,663
その他	8,034	9,556
無形固定資産合計	18,014	21,219
投資その他の資産		
投資有価証券	17,398	17,739
長期貸付金	507	495
退職給付に係る資産	5,471	5,793
差入保証金	13,086	13,401
繰延税金資産	4,902	4,498
その他	3,647	3,263
貸倒引当金	△407	△404
投資その他の資産合計	44,606	44,787
固定資産合計	272,175	289,989
繰延資産		
開業費	0	0
繰延資産合計	0	0
資産合計	436,066	453,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	44,383	44,293
電子記録債務	8,586	9,155
1年内償還予定の社債	7,118	7,118
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	10,009	10,004
短期借入金	22,036	21,513
リース債務	4,253	4,794
未払法人税等	5,377	3,987
賞与引当金	6,247	6,790
役員賞与引当金	420	208
災害損失引当金	68	25
その他	25,211	20,415
流動負債合計	133,715	128,306
固定負債		
社債	30,024	40,000
転換社債型新株予約権付社債	22,108	22,095
長期借入金	74,887	82,814
リース債務	14,881	16,582
役員退職慰労引当金	260	266
特別修繕引当金	98	133
株式給付引当金	149	148
退職給付に係る負債	7,103	6,910
資産除去債務	869	888
その他	5,847	7,387
固定負債合計	156,230	177,227
負債合計	289,946	305,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,564	26,564
資本剰余金	29,806	29,584
利益剰余金	81,211	85,955
自己株式	△4,638	△8,136
株主資本合計	132,944	133,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,759	1,897
繰延ヘッジ損益	32	△14
為替換算調整勘定	57	296
退職給付に係る調整累計額	△10	56
その他の包括利益累計額合計	1,839	2,237
新株予約権	410	391
非支配株主持分	10,926	11,805
純資産合計	146,120	148,400
負債純資産合計	436,066	453,934



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業収益	273,449	300,762
営業原価	240,422	259,440
営業総利益	33,026	41,321
販売費及び一般管理費	23,384	29,616
営業利益	9,641	11,705
営業外収益		
受取利息	27	61
受取配当金	94	99
その他	1,122	1,136
営業外収益合計	1,244	1,298
営業外費用		
支払利息	552	601
その他	565	437
営業外費用合計	1,118	1,039
経常利益	9,767	11,964
特別利益		
補助金収入	—	248
固定資産売却益	452	52
投資有価証券売却益	35	—
特別利益合計	488	300
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	337	243
固定資産圧縮損	44	243
固定資産除却損	42	83
災害による損失	—	8
投資有価証券評価損	277	—
事業所撤退損	60	—
減損損失	37	—
特別損失合計	798	579
税金等調整前四半期純利益	9,457	11,685
法人税、住民税及び事業税	3,332	3,972
法人税等調整額	230	337
法人税等合計	3,562	4,310
四半期純利益	5,894	7,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	167	419
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,726	6,955

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	5,894	7,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	631	119
繰延ヘッジ損益	△11	△46
為替換算調整勘定	△547	292
退職給付に係る調整額	198	67
その他の包括利益合計	271	432
四半期包括利益	6,165	7,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,126	7,353
非支配株主に係る四半期包括利益	39	453

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,457	11,685
減価償却費	8,337	9,337
のれん償却額	339	493
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△52	△3
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△38	△322
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△332	△125
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△271	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	590	488
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△46
受取利息及び受取配当金	△122	△161
為替差損益 (△は益)	△1	73
支払利息	552	601
補助金収入	—	△248
固定資産圧縮損	44	243
減損損失	37	—
固定資産売却損益 (△は益)	△434	△35
固定資産除却損	42	83
投資有価証券売却損益 (△は益)	△35	0
売上債権の増減額 (△は増加)	3,860	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	—	△83
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,659	354
未払債務の増減額 (△は減少)	△2,947	△2,583
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△985	△2,333
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△535	1,389
その他	△275	△1,094
小計	15,567	17,711
利息及び配当金の受取額	347	200
利息の支払額	△568	△594
補助金の受取額	—	248
法人税等の支払額	△4,684	△5,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,662	12,170
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△991	△934
定期預金の払戻による収入	834	965
有形固定資産の取得による支出	△8,970	△15,913
有形固定資産の売却による収入	1,294	171
投資有価証券の取得による支出	△292	△83
投資有価証券の売却による収入	75	41
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△776	△5,174
差入保証金の差入による支出	△487	△618
その他	△839	△302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,153	△21,849
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,110	△1,797
長期借入れによる収入	13,161	10,677
長期借入金の返済による支出	△9,097	△1,858
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,098	△2,473
社債の発行による収入	20,000	10,000
自己株式の取得による支出	△311	△3,630
自己株式の売却による収入	106	6
配当金の支払額	△1,983	△2,228
非支配株主への配当金の支払額	△164	△147
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△244
その他	169	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,671	8,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△210	174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,969	△1,245
現金及び現金同等物の期首残高	27,142	50,371
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,078	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,190	49,126

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、主として、顧客への商品の提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当該対価の総額から第三者に対する支払額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益が24,755百万円、営業原価が24,751百万円、営業総利益が3百万円、販売費及び一般管理費が3百万円それぞれ減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益ならびに利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び営業未収入金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、営業未収入金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「売上債権の増減額(△は増加)」は、当第2四半期連結累計期間より「売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、連結貸借対照表の前連結会計年度及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書の前第2四半期連結累計期間について新たな表示方法により組替えを行っていません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	188,068	77,534	7,846	273,449	—	273,449
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,674	5,582	4,736	11,994	△11,994	—
計	189,742	83,117	12,583	285,443	△11,994	273,449
セグメント利益 又は損失(△)	8,559	1,461	△26	9,993	△351	9,641

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△351百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	208,540	75,010	17,211	300,762	—	300,762
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	2,228	3,341	4,702	10,273	△10,273	—
計	210,768	78,352	21,914	311,035	△10,273	300,762
セグメント利益 又は損失(△)	10,883	1,372	△106	12,148	△443	11,705

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△443百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」セグメントにおいて、AIRROAD PTY LIMITEDの株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,870百万円であります。なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

「その他事業」セグメントにおいて、エヌデーシー株式会社の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては278百万円であります。

また、2020年12月1日に行われた株式会社UACJ物流との企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、当第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、「物流事業」セグメントにおいてのれんの金額を修正しております。